

情報社会論

科目ナンバー 4G202
専門 選択 2単位

高井 久美子

1. 授業の概要(ねらい)

「情報化と社会」という問題を、①情報化社会とは何か、②情報化社会に生きるとはどういうことか、③社会にとって情報化とはどういうことか、という三点を基軸に学びます。この科目では、学位授与の方針(ディプロマポリシー)DP5に関連する知識を修得します。

2. 授業の到達目標

情報技術(ITおよびICT)の特性をもとに情報化が社会に及ぼす影響を考えるを通して、情報社会に積極的に参画するための素養を身につけることを本授業の目的とします。学生は、人間と社会との関係を複数の視点から捉えて考えることができるようになります。また、情報と社会の関連について例を示して説明することができます。

3. 成績評価の方法および基準

2回のレポートを50%、科目修得試験の結果を50%の割合として、全体で60%以上の評価点を得たものを合格とします。レポートに対しては、コメントとルーブリックによる評価をフィードバックします。

4. 教科書・参考文献

教科書

駒谷昇一ほか 「情報とネットワーク社会」ISBN978-4-274-21121-8 オーム社

5. 準備学修の内容

毎回の授業では、テキストの指定された部分を読み、サブテキストに示された課題に取り組みます。準備学修と事後学修を含めて1回あたりの学修時間は2時間程度を目安とします。

6. その他履修上の注意事項

レポートの提出とフィードバックにLMSを用います。

7. 授業内容

- 【第1回】 変化する情報社会
- 【第2回】 情報社会が抱える問題
- 【第3回】 技術の進化と社会
- 【第4回】 情報倫理1 知的財産と個人情報
- 【第5回】 情報倫理2 被害防止とセキュリティ
- 【第6回】 情報とコミュニケーション
- 【第7回】 社会的コミュニケーション
- 【第8回】 ヒューマンコンピュータインタラクション
- 【第9回】 インターネットの成り立ちと仕組み
- 【第10回】 社会基盤としてのインターネット
- 【第11回】 メディアリテラシー
- 【第12回】 社会を支える情報システム
- 【第13回】 情報システムを活用した企業活動
- 【第14回】 情報技術と社会
- 【第15回】 まとめ